

令和8年3月16日（月曜日）

予算決算委員会総務分科会

第1委員会室

出席委員

西本眞造、金内義和、山口 悟、石堂大輔、
三和 衛、竹中由佳、嶋谷秀樹、坂本 学
小田響子

【総務委員会（消防局）の審査】

再開

10時36分

消防局

10時36分

送付議案説明

- ・議案第 1号 令和8年度姫路市一般会計予算
- ・議案第13号 令和7年度姫路市一般会計補正予算
（第8回）

質疑

10時49分

（質問）

消防施設整備事業債が大きく減少しているが、これは消防指令システムの更新が完了したためか。

（答弁）

消防指令システムの更新と消防救急デジタル無線システムの間整備が完了したことによる。

（質問）

補正予算でマイナ救急用タブレット端末等購入費が計上されている。3月9日に消防庁が公表した資料によると、全国の消防本部におけるマイナ救急の実証事業で、実際に閲覧できた割合は17.4%であったが、本市の割合はどうか。

（答弁）

本市はおおむね24%である。令和4年から実証事業に参加していることもあり、マイナ保険証を所持している市民が増加しているため、全国平均を上回っている。

なお、マイナ救急用タブレットについては現在、国の無償貸与により各救急隊に配備しているが、今回の補正予算は来年度に増隊する日勤救急隊分と本部の管理用端末の購入を目的とするものである。

（質問）

実証事業中に意識不明の方のマイナ保険証の情報を閲覧して、搬送先の病院を選定するような事例はあるのか。

（答弁）

マイナ救急における情報閲覧は原則として本人同意が前提である。実証事業の当初は、意識障害等により同意が確認できない場合は閲覧できなかったが、現在では生命、身体の保護の観点から閲覧できるよう国において運用が変更された。意識障害や重篤な負傷等で聞き取りができない方の病歴等が把握できる点は非常に有用であり、実際に奏功した事例も多い。

活用事例としては、夫婦2人暮らしで意識を失った夫に代わり妻が夫のマイナ保険証を提示して情報閲覧したケースが多数ある。一方で、屋外で1人で倒れている場合など、そもそもマイナ保険証の所持が確認できない状況では活用できないこともある。

（質問）

スマートフォンにマイナンバーカードを取り込み、物理的なマイナ保険証を所持していない者も多いと考えられるが、スマホ搭載のマイナ保険証でもマイナ救急は実施できるのか。

（答弁）

現時点では実施できないが、令和8年度の早い段階で利用可能となる見込みである。スマホ搭載の保険証が閲覧可能になれば、保険証の実質的な所持率が大きく上昇すると予想され、それに伴いマイナ救急での閲覧率も上昇すると考えている。

（要望）

引き続きマイナ救急を有効活用し、国に有効事例や研究成果等を報告されたい。

（質問）

新規事業の飾磨消防署の整備については、どのように進めていくのか。

（答弁）

令和8年度に仮設庁舎も含めた実施設計、令和9年度から10年度に工事を行う予定である。大規模改修工事に当たっては、飾磨消防署の人員と車両を仮設庁舎と分署に分けて配置した上で実施することとしている。

（質問）

仮設庁舎の設置場所は決まっているのか。

（答弁）

現在の飾磨消防署の敷地内に設置する予定である。

(要望)

市民生活に支障を来さないよう万全の態勢で当たられたい。

(質問)

債務負担行為のうち、姫路市民共済生活協同組合貸付について、これまでも定期的に貸付けを行っているようなものか。

(答弁)

本件は期限が終了したために新たに債務負担行為を行うものであり、貸付けは相手方に不足が生じた場合にのみ行われるものである。記憶する限りでは貸し付けた実績はない。

(質問)

債務負担行為のうち消防施設整備事業費について、全体会では姫路東消防署解体に関して、文化庁との協議に時間がかかるためと説明されたが、具体的にどのような協議をしているのか。

(答弁)

協議についてはまだ行っていないが、普通の解体工事とは異なり、文化財への影響を考慮して最小限の掘削にとどめなければならぬと考えている。時期等も含め、今後市の文化財課とも協議しながら進めていきたい。

(要望)

すぐに解体せず何かに活用できないかという話もある。そうしたところも含め幅広く協議されたい。

(質問)

拡充事業であるひめじ防災プラザのリニューアルについてはどのようなことを考えているのか。

(答弁)

市民の防火防災意識を高めるため、近年の防災知見を反映した映像コンテンツの追加や実践的な防災学習環境の整備のほか、座席通路等のユニバーサルデザイン化等を図ろうと考えている。

(質問)

来館者数はどのような状況にあるのか。

(答弁)

今年度は現時点で1万6,000人程度で、昨年度と比べて800人程多い状況にある。コロナ禍により半減した来館者数は徐々に回復し、現在はコロナ禍前の8割程度の水準にある。

(要望)

山崎断層帯を直下に抱える本市において災害の恐ろしさや備えの大切さを学習できる施設は重要であることから楽しむ場所というだけでなく、災害の怖さも分かるようしっかりと整備されたい。

(質問)

新規事業の消防団員の活動支援として消防団アプリを導入しようとしているが、どのようなものか。

(答弁)

消防団アプリは、消防団活動の見える化と事務の効率化を図り、団員の負担軽減を目指すとともに、災害時の迅速かつ的確な出動体制を構築するものである。同アプリは発災情報の通知、車両や水利、災害地点等の情報を地図上で共有する機能を備えるほか、平常時には活動報告書等をアプリ上で作成・提出でき、データも自動集計・管理することができる。

なお、同アプリについては、多くの自治体で導入実績のある既存の製品を採用する想定である。

(質問)

現在の発災情報の通知はどのようにしているのか。

(答弁)

メールやLINEによる通知のほか、事前に登録された団員には電話でも通知している。

(質問)

年配の団員などは使用が困難ではないのか。

(答弁)

アプリは直感的に操作でき、分かりやすいものを選定しようと考えている。また、導入に当たっては説明会を開催し、操作方法の周知・習熟を図る予定である。

スマートフォンを所持しない団員や操作に不安を抱える団員については、従来の方法も併用しようと考えている。

(質問)

完全移行の時期はいつ頃になるのか。

(答弁)

現時点では運用状況を確認しながら移行時期を検討したいと考えている。

(答弁)

移行期間は大変かと思うが、丁寧に周知説明されたい。

(質問)

消防車両の更新について、近年では納車に時間がかかっていることが多いが現状はどうか。

(答弁)

近年と同様にメーカーの生産が追いつかず、納車は遅延している。そのため、当該更新は2か年の債務負担行為として措置せざるを得ない状況である。

(質問)

新規事業の感震ブレーカーの助成について、兵庫県が定める密集市街地はどれくらいあるのか。

(答弁)

対象地域は県の都市計画防災街区整備方針に記載されている。本市では防災再開発促進地区として1地区、課題地域として6地域あり、対象戸数は6,000軒に上る。

(質問)

課題地域に「〇〇町周辺」との記載があるが、同じ町でも対象と対象外があるのか。

(答弁)

そのとおりである。整備方針には地域の細部まで記載されていないが、道路等で区切って対象範囲を定めているとの情報を得ている。

(質問)

こうした助成案内は自治会に協力依頼することが多いが、自治会も対象地域がはっきりしなければ対応が困難だと思われる。どのように周知しようと考えているのか。

(答弁)

県の助成発表の期間が短かったため詳細は今後詰めるが、自治会への協力依頼に加え、対象戸にはチラシ等で個別案内を行うなど複数の周知手段を検討する。

(要望)

本事業は数年間にわたるものと想定されるため、効果的な周知方法を引き続き研究されたい。

役職定年者等挨拶

消防局終了

11時38分

【総務委員会（財政局）の審査】

財政局

12時00分

送付議案説明

- ・議案第1号 令和8年度姫路市一般会計予算
- ・議案第8号 令和8年度姫路市財政健全化調整特別会計予算
- ・議案第13号 令和7年度姫路市一般会計補正予算（第8回）

質疑

12時11分

(質問)

一般会計の一時借入金の借入れの最高額が250億円から300億円に上がっているが、その理由はどのようなものか。

(答弁)

主な理由は物価上昇による経費の増加である。

加えて、令和8年度は手柄山整備事業が最終年度を迎え、一括して支払う必要があるため資金需要が高まることも理由である。国庫補助金や起債による借入れもあるが、これらの交付や起債実行は年度末に偏るため、資金繰りを安定させる観点から一時借入金の上限を増額した。

(質問)

令和7年度の借入状況はどの程度なのか。

(答弁)

一時借入金の借入見込みは約150億円である。

なお、令和8年度の手柄山整備事業の支払については、近年の物価上昇により工事費が大幅に上昇している。

役職定年者挨拶

財政局終了

12時16分

【総務委員会（デジタル戦略本部）の審査】

デジタル戦略本部

14時04分

送付議案説明

- ・議案第1号 令和8年度姫路市一般会計予算
- ・議案第13号 令和7年度姫路市一般会計補正予算（第8回）

質疑

14時13分

(質問)

歳入のうち雑入が大きく減少しているが、どのような理由なのか。

(答弁)

システム運用保守経費等負担金のうち、国民健康保

険分が減少したことによるものである。

(質問)

歳出のうち委託統計調査費が減少しているが、どのような理由なのか。

(答弁)

主な要因は国勢調査費の計上がなくなったことである。

(質問)

本会議でLGWAN環境下における生成AI活用についての答弁があったが、セキュリティについてはどのようなになっているのか。

(答弁)

自治体のネットワーク環境は国の指導に基づき、インターネット接続系、LGWAN接続系、マイナンバー利用事務系の三層に分離して運用している。本市における生成AIの活用はインターネット接続系とLGWAN接続系で行っているが、情報セキュリティの観点から機密性・秘匿性の高い情報の入力についてはLGWAN接続系のみで運用している。LGWAN接続系は行政機関間の専用ネットワークでインターネットから分離されているため安全性が高く、当該利用は本年3月から開始したところである。

(質問)

情報システム標準化移行後の運用経費の増加についてももう少し説明されたい。

(答弁)

国は当初、情報システムの標準化によりシステム運用費をおおむね3割削減することを目標としていた。しかし現実には、標準化の移行前と比較して国全体の運用費が約1.8倍に増加すると推計されている。増加分については国の補助金や交付税等の財政措置が講じられているが、本市としては国や県と協議の上、運用費が過大でないか検証したいと考えている。

役職

デジタル戦略本部終了

14時27分

【総務委員会（選挙管理委員会事務局）の審査】

選挙管理委員会事務局

14時42分

送付議案（説明省略）

・議案第1号 令和8年度姫路市一般会計予算

質疑

14時42分

質問なし

選挙管理委員会事務局終了

14時43分

議会事務局

14時43分

送付議案（説明省略）

・議案第1号 令和8年度姫路市一般会計予算

質疑

14時44分

質問なし

議会事務局終了

14時45分

【総務委員会（議会委員会事務局）の審査】

【総務委員会意見取りまとめ】

意見取りまとめ

14時57分

・分科会長報告について

留学生受入促進モデル事業の予算執行に当たっては、実勢価格を調査し精査されたいことを盛り込んだ上で、正副分科会長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了

14時58分

閉会

14時58分